

# 川崎市新多摩川プラン

概要版





# 川崎市新多摩川プランの計画概要

## ● 新多摩川プランとは

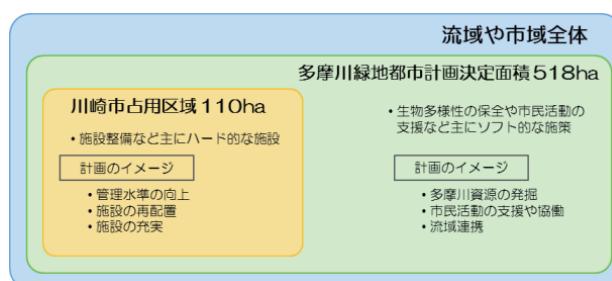
平成19年3月に策定した多摩川プランは、目標年次である平成27年度までに様々な施策を推進してまいりました。新多摩川プランでは約10年間に変化した社会情勢や自然環境、市民のニーズをふまえて、川崎のシンボルである「ふるさとの川・多摩川」の歴史的・文化的資源、そして環境資源を最大限に活かしたにぎわいの場(憩い、遊び、学ぶ)の創出を目指すため、効果的で実現性の高い計画として改定したものです。

## ● 計画期間

新多摩川プランの計画期間は平成28年度を初年度として、10年間の平成37年度を目標年次とします。

## ● 計画対象範囲

新多摩川プランの計画範囲は川崎市域や多摩川流域全体に及ぶものであります。川崎市が運動施設や憩える広場として占用している110haが計画の中心となります。



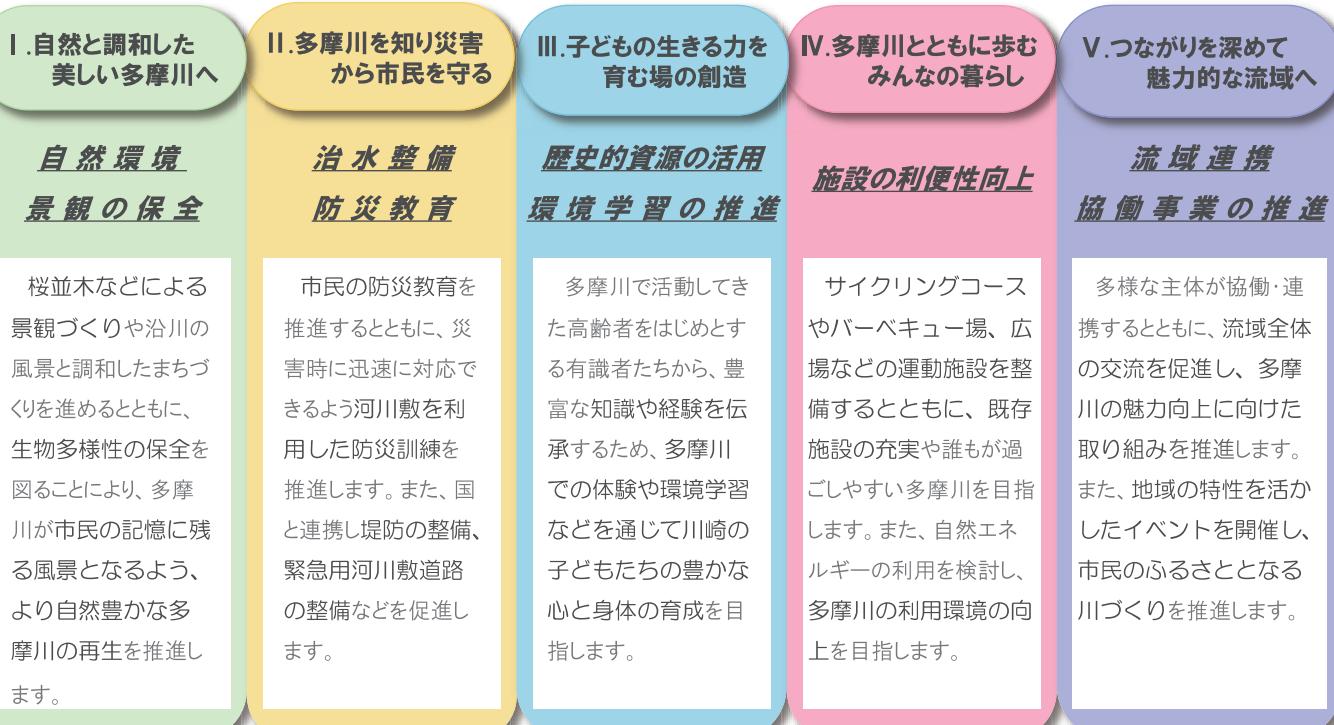
## 基 本 理 念

### 「川のふるさとの再生 市民協働による多摩川ライフの創造」

新多摩川プランでは、これまでの多摩川プランで掲げている基本理念を尊重し、継承いたします。多摩川は限りない可能性を有した存在であり、大都市の中を流れる自然豊かな大河川で「川崎の母なる川」となっています。市民共有の財産として再評価し、豊かな河川環境の創出を目指して、市民・企業・学校・行政との協働により、より魅力的な豊かな多摩川を持続的に育むしくみづくりをめざします。

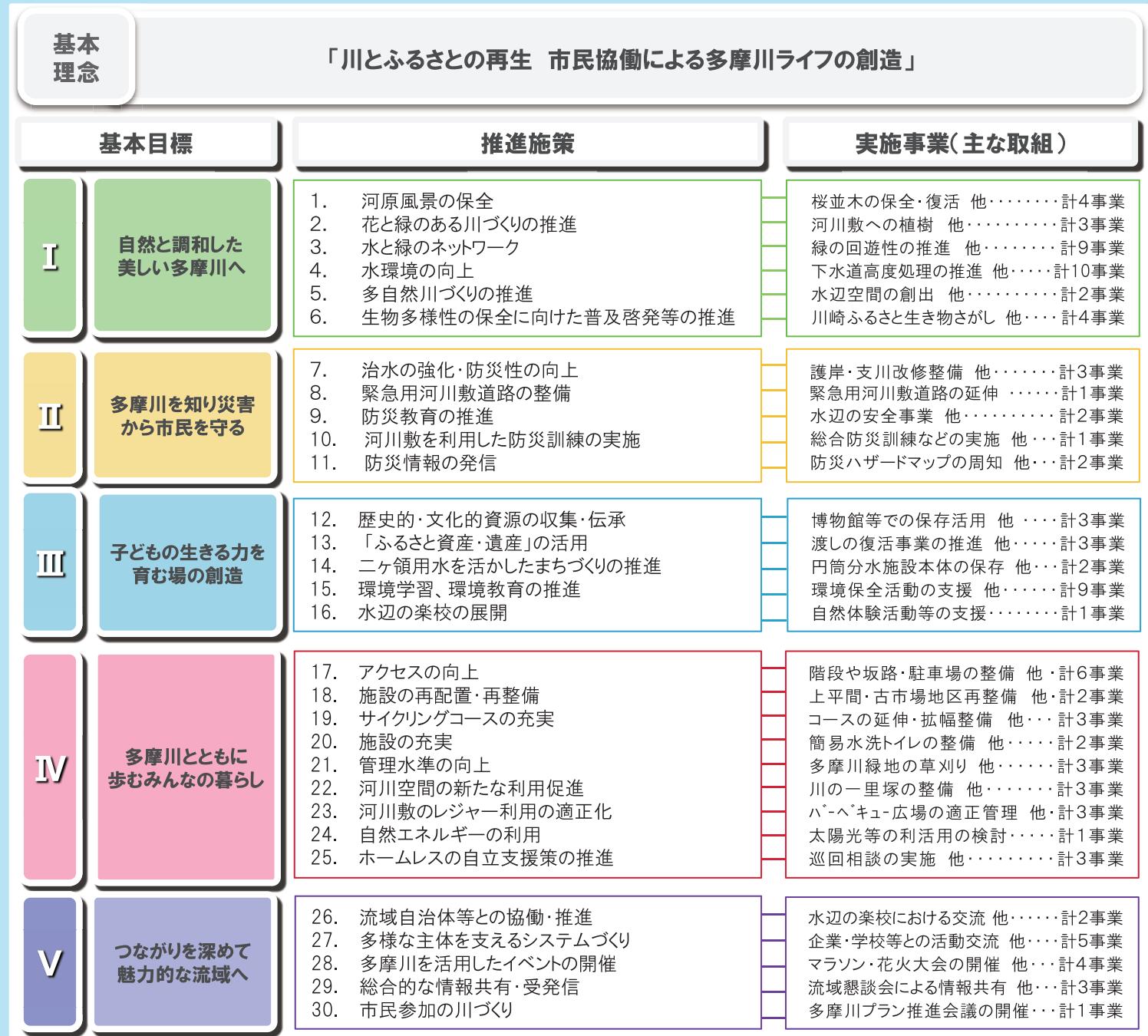
## ● 基本目標

多摩川プランを推進するにあたり、新たに5つの基本目標を定めました。



# 新多摩川プランの施策体系

基本理念に基づき5つの基本目標を設定し、基本目標に対して30の推進施策と100の実施事業を位置付けています。さらに、優先的かつ重点的に実施していくものについて、3つの重点プロジェクトを設定しました。



## 重点プロジェクト

1 自然とふれあい安心子育てプロジェクト

2 みんなで生き生き活動プロジェクト

3 多摩川の風景とともに歩むプロジェクト

\* 重点プロジェクトの詳細は裏面をご覧ください

# 重点プロジェクト

## ● 重点プロジェクトとは

重点プロジェクトは、自然環境への関心の高まりや東京オリンピック・パラリンピック開催決定による市民スポーツやレクリエーションへの動向をとらえ、複数の事業に関連する早期に課題解決が可能なエリアを選定し、優先的かつ重点的に取り組んでいきます。

また、多摩川プラン各事業の相乗効果を生み出すことを狙いとして3つの重点プロジェクトを定めました。

### 重点プロジェクト 実施対象エリア



#### ①自然とふれあい安心子育てプロジェクト

- 多自然川づくりの推進 ..... I
- 治水の強化・防災性の向上 ..... II
- 緊急用河川敷道路の整備 ..... II
- 環境学習の推進 ..... III
- 水辺の楽校の展開 ..... III

#### ②みんなで生き生き活動プロジェクト

- 花と緑のある川づくりの推進 ..... I
- 施設の再配置・再整備 ..... IV
- 管理水準の向上 ..... IV
- 施設の充実 ..... IV
- 多摩川を活用したイベントの開催 ..... V

#### ③多摩川の風景とともに歩むプロジェクト

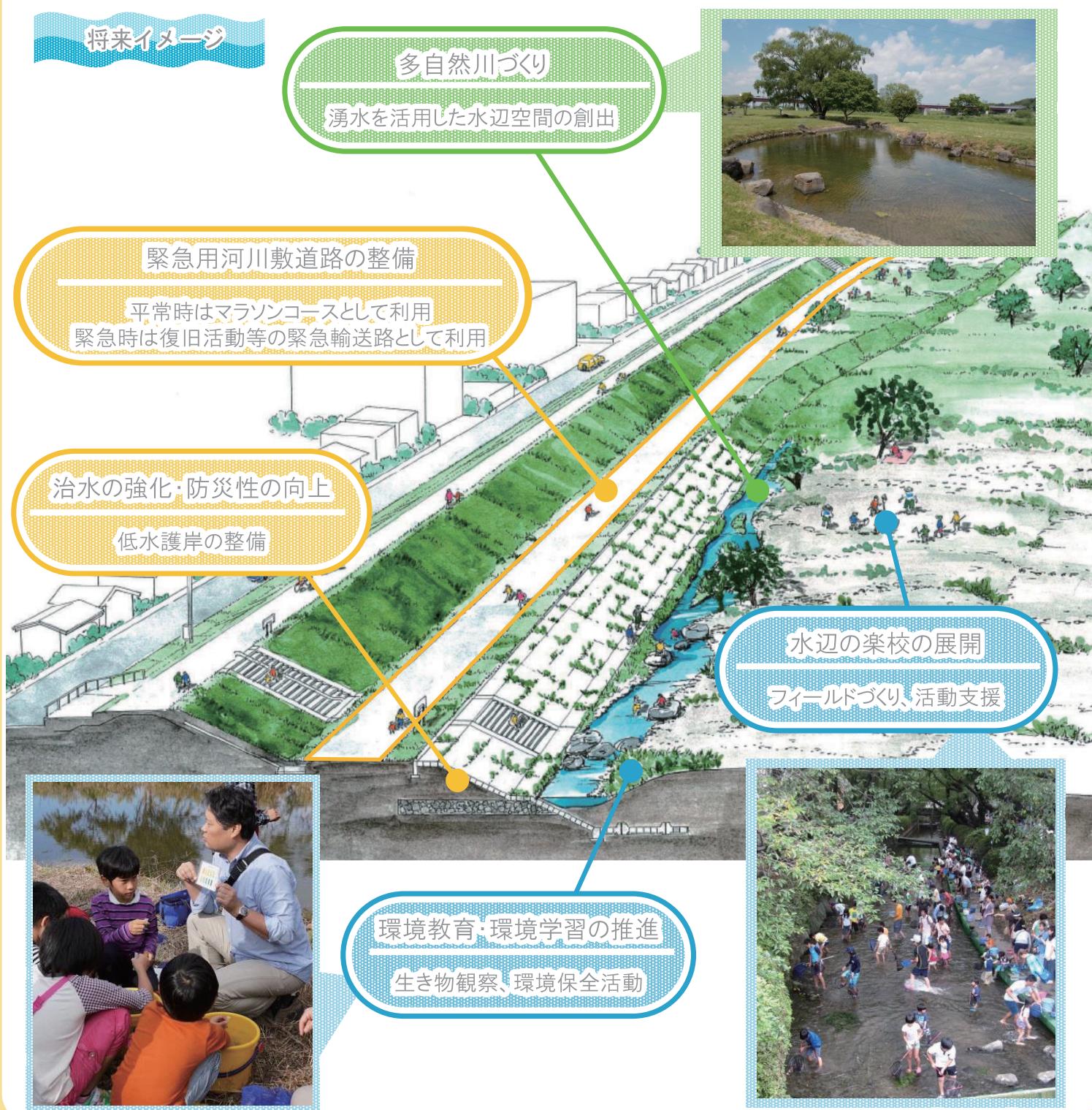
- 河原風景の保全 ..... I
- 「ふるさと資産・遺産」の活用 ..... III
- サイクリングコースの充実 ..... IV
- 流域自治体等との協働・連携 ..... V
- 総合的な情報共有・受発信 ..... V

### 5つの基本目標

III	子どもの生きる力を育む場の創造
IV	多摩川とともに歩むみんなの暮らし
V	つながりを深めて魅力的な流域へ

I	自然と調和した美しい多摩川へ
II	多摩川を知り災害から市民を守る

都市化の進んだ川崎市において、多摩川は貴重な水と緑にふれあえる自然空間であり、多くの生き物が生息・生育する場所です。人々が安全に自然とふれあいながら子育てをできる場として、東名高速道路より上流部では、既存堤防の強化の際に生物多様性に配慮した整備を行います。また、緊急用河川敷道路の整備により防災機能の向上を図るとともに、湧水を活用した親水空間を創出することで生き物の生息しやすい環境にします。



等々力・丸子橋地区に引き続き、上平間・古市場地区周辺において、地元との利用調整を行いながら、施設の再配置・再整備を行うことで、駐車場の拡充や利用可能な施設数の増加を進めます。また、施設利用者の休憩スペースとして、日陰となるように植樹やトイレ施設の充実をするとともに、多摩川のフィールドを活かしたマラソン大会、地元地域のイベントの開催など様々な活動を実施していきます。

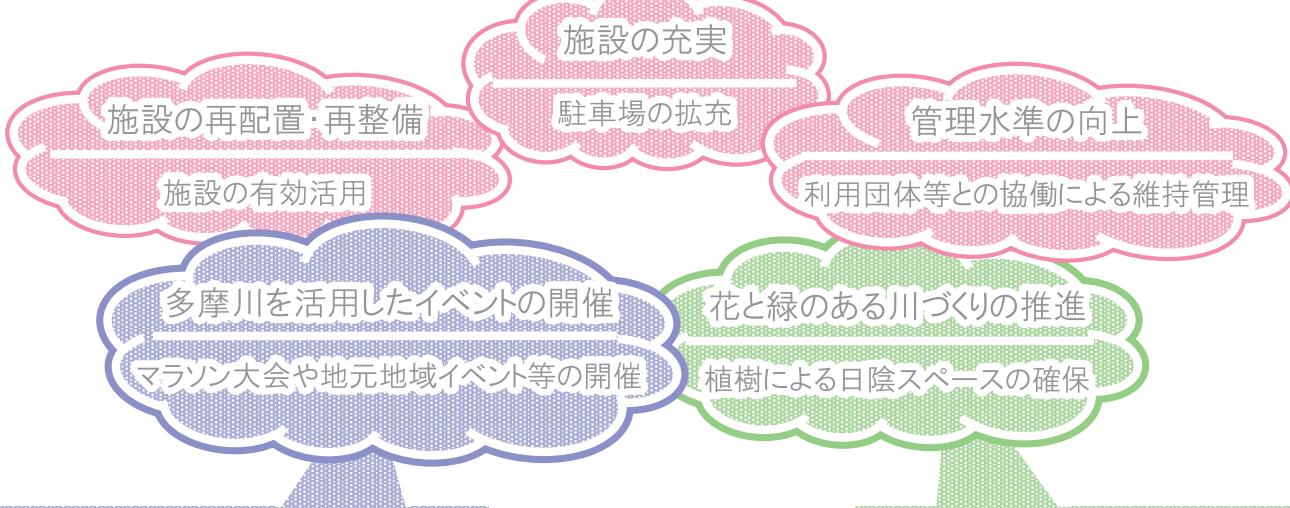
### 現在の様子



川崎市（上平間・古市場地区）

※図は現在の施設位置を示す

### 将来イメージ



サイクリングコース沿いにある渡し場跡の碑などの多摩川の歴史や桜並木などの風景を感じもらえるように、コースの回遊性を高めます。未接続部分である布田地区から稲城市までのコースの延伸整備を行うとともに、戸手地区の高規格堤防整備に合わせて、多摩川大橋から多摩川見晴らし公園までの延伸整備を行います。また、利用者が安全に通行できるように、コースの拡幅や路面表示を整備するなど、多摩川の魅力向上に向けた取り組みを推進します。



## 新多摩川プランの特徴(主な取り組み)

新多摩川プランでは、新たに、防災や連携をキーワードに5つの基本目標を設定しました。また、重要な施策として、これまで通り環境学習を進めるとともに、より多くの市民が多摩川に親しめるよう、植樹による木陰の創出や、安全に水に親しめるよう水辺の安全事業の支援を進めてまいります。さらに、多摩川の広大な河川空間を快適に楽しめるようサイクリングコースを延伸するとともに、近隣自治体との連携したイベントを通して多摩川の魅力向上に努めます。



多摩川を散策する人や運動施設を利用する人が木陰で休憩できるように  
河川敷に植樹

水辺の楽校による子どもたちが安全  
に水に親しめるフィールドづくりと  
水辺の安全事業の支援



多摩川の歴史や生物などの知識を有する市民団体などによる子どもたちへ環境学習の推進

稲城市などの流域自治体と連携した  
サイクリングコースの延伸や利用者  
が安全に通行するための拡幅整備



流域自治体との渡し事業など市民交流を図るイベントの開催・多摩川流域自治体全体との協働・連携の推進

### 問い合わせ先

川崎市 建設緑政局 緑政部 多摩川施策推進課  
〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地  
TEL:044-200-2265 FAX:044-200-3979  
e-mail:53tamasu@city.kawasaki.jp